

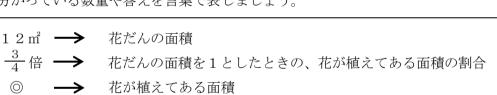
わかるぞ!できるぞ!算数

割合を分数で表している問題を解こう。

- 1 単 元 6年 分数×分数
- 2 本時の目標
 - 割合を分数で表している問題を解くことができる。
 - 数量の関係を数直線図に表し、くらべる量を求めることができる。
- 3 準備物 パソコン、デジタルテレビ、教材 (パワーポイント)、 実物投影機、 ホワイトボード
- 4 過程
- (1) 学習課題をつかむ。

面積が12 ㎡の花だんの $\frac{3}{4}$ に花が植えてあります。 花が植えてあるところの面積は何㎡でしょう。

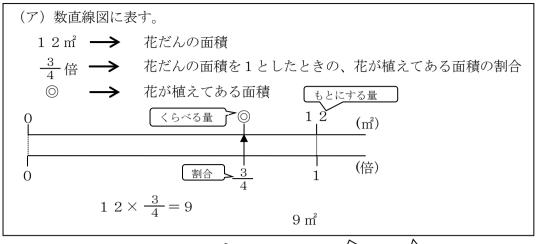
- T 分かっている数量を言いましょう。
- C $1 \ 2 \ \text{m}^2 \ \text{c} \ \frac{3}{4} \ \text{c} \ \text{f}.$
 - ※ 答えを◎で表すことを知らせる。
- T 分かっている数量や答えを言葉で表しましょう。



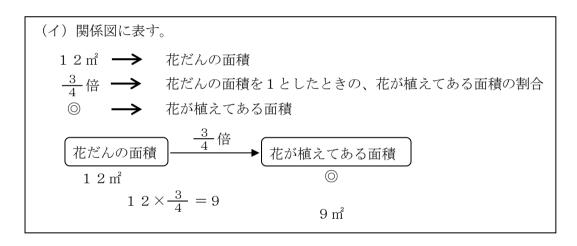
- $\frac{3}{4}$ 倍を言葉で表すときに、何を1としているかをつかませる。
- T この問題は、割合が分数で表されていますが、5年生で学習した割合の問題です。
- T くらべる量、もとにする量のうち、どちらを求めますか。
- C くらべる量です。
- T 今日は、割合を分数で表している問題を解きます。数量の関係を数直線図にかいて答え を求めましょう。

割合を分数で表している問題を解こう。

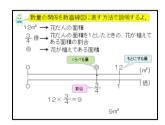
- ※ 教科書のような関係図も可とする。
- (2) 問題を解く。
 - ※ 児童の主な反応例



※ 児童が発表しているときに、、「もとにする量」(くらべる量) 割合) を加筆するとよい。



- (3) それぞれ自分の考えを発表し、話し合う。
 - T 友達の考えを聞いて、気の付いたことを発表しましょう。
 - C 数直線図に表すとよく分かります。
 - C 割合が分数になっているだけで、考え方は5年生のときと同じです。
 - C 関係図は簡単にかけるけど、数直線図に表すと、答えの大きさがよく分かります。
 - T 割合が分数になっていますが、数直線図に表すと、この問題はくらべる量を求める問題 だということがよく分かりますね。
 - ※ 児童の実態に合わせ、スライドを活用して、 数直線図に表す方法を理解させる。



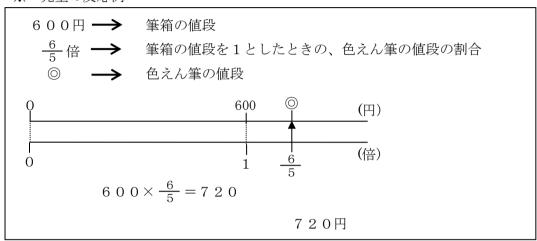
(4)練習問題を解く。

筆箱の値段は600円です。

色えん筆の値段は、筆箱の値段の $\frac{6}{5}$ 倍だそうです。 色えん筆の値段は、何円でしょう。



- T 分かっている数量や答えを言葉で表し、数量の関係を数直線図にかいて答えを求めましょう。
 - ※ 児童の反応例



※ 児童の実態に合わせ、スライドで補足説明する。



- (5) 本時のまとめをする。
- 5 板書計画

